

プログラム 第13回日本神経病理学会近畿地方会 2016年7月9日(土)

<世話人会> 12:00~12:45 (北4階病棟カンファレンスルーム)

<標本展示> 13:00~14:30 (総合解剖センター 2階 第4実習室)

<講演> 14:40~16:50 (総合解剖センター 2階 第4実習室)

14:40~14:45

開会の辞: 大阪府済生会中津病院 神経内科 山本 徹 先生

セッション1: 座長 綾木 孝 先生 (京都大学医学部附属病院 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学)

14:45~15:25

1. 脳生検で確定診断できた輸入真菌症の1例
  - 1) 国立病院機構大阪医療センター・臨床検査科(病理診断科)
  - 2) 同 感染症内科
- 児玉良典<sup>1)</sup>, 伊熊素子<sup>2)</sup>, 森 清<sup>1)</sup>, 清川博貴<sup>1)</sup>, 眞能正幸<sup>1)</sup>
2. 卵巣成熟奇形腫に見られた小脳、脳幹様組織の神経病理学的考察
  - 1) 滋賀県立成人病センター 病理診断科
  - 2) 兵庫県立がんセンター 病理診断科
  - 3) 奈良県立医科大学 病理診断学講座
- 新宅雅幸<sup>1)</sup>, 佐久間淑子<sup>2)</sup>, 大林千穂<sup>3)</sup>

セッション2: 座長 隅 寿恵 先生 (大阪大学医学部医学系研究科神経内科学)

15:25~16:45

3. 胃腸症状の後に四肢呼吸筋麻痺のため4か月の経過で死亡し、SOD陽性封入体を認めSOD関連ALSが疑われた剖検例
  - 1) 京都大学医学部附属病院 神経内科
  - 2) (現所属) 八尾徳洲会総合病院
- 山口裕子<sup>1)</sup>, 綾木 孝<sup>1)</sup>, 辰己新水<sup>1), 2)</sup>, 山下博史<sup>1)</sup>, 漆谷 真<sup>1)</sup>, 高橋良輔<sup>1)</sup>
4. 嗜銀顆粒性認知症にPSP様病変を合併した一例  
京都府立医科大学大学院 分子病態病理学
- 丹藤 創, 伊東恭子
5. 嗜銀顆粒病を合併した筋萎縮性側索硬化症の一剖検例
  - 1) 独立行政法人 国立病院機構刀根山病院 神経内科
  - 2) 大阪府立急性期・医療センター 神経内科
  - 3) 同 病理科
- 豊岡圭子<sup>1)</sup>, 石倉照之<sup>2)</sup>, 森 千晃<sup>1)</sup>, 山寺みさき<sup>1)</sup>, 井上貴美子<sup>1)</sup>, 島津宏樹<sup>3)</sup>, 伏見博彰<sup>3)</sup>, 狭間敬憲<sup>2)</sup>, 藤村晴俊<sup>1)</sup>, 佐古田三郎<sup>1)</sup>
6. 黒質と青斑核以外でNeuron lossが乏しいDiffuse Lewy body and Alzheimer's diseaseの1例
  - 1) 大阪府済生会中津病院 神経内科
  - 2) (現所属) 川崎医科大学脳卒中科
- 山本 徹<sup>1)</sup>, 和田裕子<sup>1), 2)</sup>

16:45~16:50

閉会の辞: 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学 伊東 恭子 先生